



## 分会家族から相談・勤務時間が減ったのに コロナ「休業支援金・給付金」

先日、組合員と一緒に事務所を訪れた娘さんから相談がありました。「飲食店で働いているが、昨年5月までは休業手当が出ていた。その後、週3日ほどの出勤で休業手当は出ていない。店側に聞いても『仕事がないから出せない』の一点張り。

生活に困って今は、ダブルワークをしている。なんとなくニュースを聞いていて、出るのではないかと相談に来ました」と話しました。



休業支援金・給付金は事業主の指示で休業し、休業手当が支払われない人を救済する制度です。

休業支援金・給付金は、正規か非正規化を問わず、外国人労働者も対象。時短営業のため勤務時間が減ったり、アルバイトのシフト勤務の日数が少なくなったりした場合も支給される。そして、厚生労働省は今年、大企業で働く人にも休業支援金・給付金を支給する方針を発表した。対象となるのは労働契約上、労働日が明確でないシフト制、日雇い、登録型派遣といった非正規労働者。緊急事態宣言が再発令された1月8日以降(昨年11月7日以降に時短要請を発令した都道府県はそれぞれの要請の開始以降)の他、昨年4~6月の休業もさかのぼって対象とする。支給額は4~6月が休業前の賃金の60%、その他の期間は80%を予定だそうです。みなさんのまわりにも困っている人があったら教えてあげてください。

詳しくは、厚生労働省コールセンター(フリーダイヤル・0120-221276)

平日午前8時半~午後8時、土日祝は午後5時15分まで



## 財界中心の異常な政治のゆがみを正し 社会保障と福祉に手厚い国を

コロナ危機のもとで、人々の政治への関心が高まり、国民の声が政治を動かす状況が生まれています。大企業の儲けを何よりも優先する新型コロナウイルスのパンデミック(世界的流行)の中で、新自由主義を問う声が世界に広がっています。

EU(欧州連合)によって医療費削減などの緊縮政策を押し付けられて医療が崩壊、多数の死者を出したスペイン、イタリアなど。国民皆保険制度がなく十分な医療を受けられない貧困層に多くの死者を出したアメリカ。そして「構造改革」の名の下、医療費削減政策が続けられ、急性期のベッド減らし、公立・公的病院の統廃合、保健所の削減などによって、コロナ危機に脆弱(ぜいじゃく)な状態をつくりだした日本。「先進国」といわれる国で「ノー」の声がいっせいに上がっています。



アメリカでは、税金を減らし、賃金を低く抑え、企業への規制を緩める。富裕層が富めば、いずれ庶民にしたたり落ちる。政府の役割が軽んじられた結果、格差が広がり、社会のあらゆる側面がウイルス危機に無防備になっていました。「危機に無防備」という点では、日本も同じです。ヨーロッパなどでは当たり前になっていた暮らしを守るルールがない「ルールなき資本主義」といわれるもとで、医療・社会保障は削られ、長時間労働、過労死、人間使い捨ての不安定雇用など、酷い働かせ方が野放しにされ、「自己責任」が押し付けられました。そのおおもとは、たった1%の大企業と富裕層が多く富を手にしたがら、99%の人々の暮らしを犠牲にする、異常な財界中心の政治のゆがみがあります。こうした、財界中心の政治のゆがみを大本からただし、大企業の横暴を抑える民主的規制によって、国民の暮らしと権利を守る「ルールある経済社会」、社会保障と福祉に手厚い国を作ることが求められています。



# みんなのひろば

みなさんのご意見、お手紙や写真などメールや返信用封筒で送ってください。この『ひろば』に掲載させていただきます。

## じん肺とはかくも過酷な病気なのか

2018年10月父・村田昇二が、昨年12月には母が亡くなりました。父は5つ、伯父が7つの年に祖父を亡くし、祖母の手ひとつで育った兄弟。伯父は父親代わりのつもりで父を心配してくれるのに、次男の負けん気か、父はうるさくなって伯父を相手に喧嘩ばかり。伯父が労災申請を進めてくれた時には、怒鳴り合いの喧嘩に発展して、親戚一同の語り草になっていますが、伯父が諦めずに建交労に繋いでくれて、皆さんのお力で認定まで導いていただきました。深く感謝しております。

「じいちゃん！じいちゃんのために皆さんが心を砕いてくださっているんだよ。たった15や16の子供を、遠く危険なトンネル工場の現場へ送り出したおばあちゃんの心に報いるためにも、頑張ってみようよ」と、娘に説得されたくらいでは、ろくに聞き入れもしなかった父が、じわりじわりと苦しく気弱になっていき、最後には指1本、頭ひとつ動かすのも辛い状態に。じん肺とは患者本人のみならず、側にいる家族にとっても、かくも過酷な病気なんだと、父の横で過ごしてきて骨身にしみました。

組合の活動の中で、じん肺の労災認定がとても難しいことを、何度も勉強させていただきましたが、組合のお力で苦しんでいる患者さんやご家族をお助け下さいますように、伏してお願いいたします。（一部略） 上杉麗子

### 組合員数

☆認定組合員数 **30**人  
☆組合員総数 **31**人

### 3月の予定

- 4日 中央行動
- 9日 神岡じん肺訴訟名古屋高裁弁論
- 10日 全国労職部会中間会議
- 13日 県本部 第230回執行委員会
- 15日 分会第1回会議

## ご案内

※ 分会第1回会議 3月15日  
瀬戸文化センター 32会議室 マスク着用で。

## 第20回陶のまち瀬戸のお雛めぐり



1月30日から3月7日まで、愛知県・瀬戸市の街中をお雛さまが華やかに彩ります。メイン会場の『瀬戸蔵』に登場する、高さ4mのピラミッド型巨大ひな壇『ひなミッド』に並んだ約1,000体の陶磁器・ガラスの創作雛は見ごたえ満点。ひな壇の前には、瀬戸市のマスコット晴れ着姿のせとちゃんが、1日4回登場しますよ。

## 転院・施設入所・訪問診療など必ず電話を

最近、「転院したい」という方が多くなりました。通院が大変というのが理由です。しかし、自分の行きたい病院が必ずしも『じん肺』を診てくれるのか、証明してくれるのかわかりません。1カ月に1度のことなら、良く分かっている病院の方が助かりますね。転院の場合は事務所に連絡を。

